



- 新型機CAT314ELロングリーチグラップル（詳細については4頁に掲載）

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1

Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375

E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

<http://www.720017.or.jp/>

2017年7月発行



雪害木の処理状況

前号の「森林だより112号」で、雪害木の処理と対策について説明させていただきました。その後、家の裏の危険木の伐採や林内の倒木処理など、皆様から多くのご依頼をいただき順次作業を進めさせていただいております。

ただ、皆様から「〇〇地域の倒れている木はいつ処理してくれるんや?」といふお声をいただいているのも事実です。そこで、現時点においての雪害木の処理状況と、今後の計画等につきまして説明いたします。

まず、民家裏などで民家に向かって傾いたり、倒れて民家などに支障が出ていた被害木につきましては、南丹市の「里山再生事業」で危険木の除去をしていただける場合もありますので、まずは南丹市と連携しながら危険木の処理を実施しているところであります。ただ、事業開始までに少し時間を要しておりますので、事業が開始されれば早急に着手してまいります。

次に、林内の雪害木の処理について説明いたします。まず、雪害直後よりこれまでに組合で開設した作業道を中心に、

被害状況の見回りを行いました。被害が多く発生していたのは、殿田、中世木、木住、生畠の旧世木地区で、とりわけ中世木地区と生畠地区で多くの被害が発生しておりました。

雪害状況の見回りの次に行つたのが、作業道などに倒れている木の除去作業です。生活に支障を来すような倒木はもちろんのこと、皆様から「こここの道は早急に通れるようにしてほしい」とご連絡いたいた箇所につきましては、倒木処理をさせていただきました。しかし、生活等に直ぐに影響が出ないと判断した箇所につきましては、まだ処理出来おりません。今後、お盆などで「奥のお墓に行きたいのに木が倒れていて通れない」、「毎年この時期にお地蔵様の所まで車で行っているのに、木が倒れて通れない」など、当初は大丈夫だと考え後回しにしている箇所で、支障がありましたら組合までお知らせください。最低限の処理になることもありますが、対応させていただきますので宜しくお願ひいたします。

林内において発生している被害木につきましては、まず被害発生森林が「森林保険」に加入されているのかを調査し、



(小林)

加入されているのであれば、その被害に對して保険が適用されるのかどうかといふことを調査いたしました。しかし、その件数が多いこと也有つて、現時点においても2割程度の加入森林が調査出来てしません。8月中には調査を完了し、かかるべき手続きを進めて参りますので、いましばらくお時間をいただければと思います。また、これまでに調査を終え保険が摘要される森林につきましては、順次書類等にてお知らせしてまいります。

最後に、林内の被害木処理についてですが、こちらにつきましては基本的に森林整備計画と合わして進めてまいります。ただし、道路沿いなどの目に見える箇所や、時間が経過すると危険が増すような被害森林につきましては、8月に入りましたら順次作業を進めていきます。「ここは先にしてほしい」という森林がございましたら組合までご連絡ください。

管理が劇的に減る電気柵



前号の「森林だより112号」で、「管理がほとんどいらない夢のような電気柵」という説明をさせていただきました。その後、具体的な商品等が揃い前回より詳しい説明を申し上げられるようになりましたので、改めて今号で説明させていただきます。

そもそも、電気柵と言いますと「電柵本器」、「柵線」、「支柱」、柵線を支柱に固定する「碍子（ガイシ）」がセットになつたものを指します。これまで電気柵で起こるトラブルは、これら各部品がそれぞれに問題を引き起こしております。

例えば、「柵線」の素材であるポリワイヤーが劣化し、サビたりゴミが付着して通電性が悪くなってしまう。「支柱」が倒木や雪などで折れたり曲がつたりして、そもそも電気柵が壊れてしまう。「碍子」の鉄の部分に柵線が触れ漏電してしまって、これらのトラブルが発生してしまっています。これらのトラブルを防ぐためには、こまめに電気柵を点検し不具合箇所があればその都度補修、修繕を行わなければいけません。それに

加え、草が繁茂し柵線に触れてしまうと漏電してしまうということから、常に草の背丈を抑えるため草刈りを繰り返さないとならしいわけです。また、農閑期は電柵を使わないでの、劣化を防ぐために全て撤去して春に新たに張り直すといつた作業が毎年発生いたします。

と、ここまで読むと「電気柵って面倒くさいなあ。やめとこかあ」と思つてしまの方が多いんではないでしょうか。

今回組合で皆様に紹介させていただく「電気柵」は、「柵線」の耐久性が飛躍的に良くなり、支柱が倒木や雪などの重みで折れることもなく、毎年の撤去と張り替え作業が一切不要というものです。しかも、草に少し触れただけでは漏電しませんので、下草刈りの回数もこれまでより激減します。

ません。

ただし、野生動物の侵入経路を考えて、支柱と柵線を設置しなければ元も子もあつ？そんな電気柵あるん？」と興味が湧かないでしようか。もう少し詳しく説明申し上げますと、新たに提案させていただく「電気柵」の柵線は、これまでのワイヤーとは違い「フェンシングワイヤー」という強度と耐久性に優れたワイヤーを使います。また、支柱もこれまで使用していたものより、太くて丈夫なものを使

用し耐久性を増します。このように、柵線と支柱の強度と耐久性を上げるので、農閑期にわざわざ撤収する必要がなく、電気柵を年中張ったままに出来ます。

新しい柵線の「フェンシングワイヤー」は、これまでの柵線より通電性能に優れおり、しかも、組合がお勧めしているガラガーリ社製の電柵本器自体も、国産の電柵本器より性能が高く、多少草が触れたらしくて電圧が落ちてしまうことは

ありません。

以上のように、支柱と柵線をこれまでのものより性能と耐久性が良いものに換え、ガラガーリ社製の電柵本器にすると、これまで電気柵の管理に掛かっていた時間が劇的に少なくなることは間違いないありません。

この電気柵の詳細につきましては、鳥獣被害対策コーディネーターの出野か、購買担当の小笠原までお問い合わせください。（出野・小笠原）

夏の大整備会開催案内

来る7月22日（土）・23日（日）の2日間に渡り、森の道具屋「夏の大整備会」を開催いたします。

梅雨が明け夏本番となり、気温がグングンと上昇するこの時期、身体から悲鳴が聞こえてくるのと同様に、お使いの機械（草刈機やチェーンソー）も悲鳴を上げます。

私たちは熱中症にならないために、しつかりと水分補給をしなければいけませんが、機械はしつかりとメンテナンスをしてあげなければいけません。そこで、右記の日程に限りお使いの機械の「点検・整備・目立て」を無料で行わせていただきます。夏後半の暑さに負けないために、お使いの機械のメンテナンスを私もさせていただけませんでしようか。

夏の暑さ対策グッズも、取り揃えて皆様のご来店を心よりお待ち申し上げます。（小笠原）



山林異動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となつておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

●名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した

●売買・贈与などで山の面積が増えたり、減つたりした

●引っ越しをされ住所が変更になった

●共有林などの代表者や会計責任者が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

（出野）



アンケートの実施について

森林組合の役割は、組合員の皆様の大切な森林の適正な管理を通じて、皆様との関わりを大切にし、地域社会の発展にも貢献していくことだと考えております。

しかし、平成9年に始めた日吉の森復活作戦も今年で21年目を迎え、現在では「森林施業プラン」という見積書を郵送でお送りし、皆様から郵送で御返却いただき、施業が完了すれば精算書を郵送でお送りするといった、関わり合いがあるようではないといつた状態に、いつしかなつてしまっている気がしております。このような皆様と直接お会いしたりお話をさせていただく機会が、今後どんどん減ってしまつていくことになれば、先に申し上げました「森林組合の役割」を果たしているとは言えないのではないかと、ある種の危機感を憶えております。

そこで、組合員の皆様が森林組合に対して何を思い、何を求めておいでなのかを知るために、京都大学と協同でアンケートを実施させていただこうと考えました。組合員の皆様あつての森林組合でありますので、皆様へのサービス向上を計

るためにもどうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケートにつきましては、京都大学より7月下旬から8月上旬にかけて、封筒にて郵送させていただきます。お手元に届きましたら、ご回答いただいた後、同封の返信用封筒にてご返送をお願いいたします。

新型機械導入しました

日吉町管内のスギ・ヒノキ人工林の多くは、植林されてから50～60年が経過しており、どんどん太くなり樹高も高くなっているため、一本当たりの重量も重くなっています。そのため、既存の林業機械ではパワー不足で処理出来ない木が増えました。

そこで、今後益々大きく、重なくなる樹木に対応していくために、今年新たな林業機械を導入し現場で活躍していますので、皆様にご紹介させていただきます。

機種名：CAT314E

ロングリーチグラップル

約60cm木を掴むことがで
き、最大約2.5tの木材
が持ち上げられます



地域の素敵な取組みの紹介

日吉町内において、地域の皆様が「〇〇地域を活性化させよう」と様々な取組みをされておられます。今回は、様々ある活動の中で「森林」を活用した取組みをご紹介させていただきます。

『佐々江あたご山山野草苑』整備事業

この事業は、地域資源の再発見、活用を図り地域づくりを推進する「住みよいむらづくり協議会」の地域内事業として、平成28年度から3カ年計画で取り組まれております。

その内容はと言いますと、佐々江のあたり山西側約1haの緩やかな斜面に、山

頂にある愛宕神社までつづく散策道約240mの作設、植林された杉や桧の間伐、石楠花や沙羅の木、セツブンソウ、くりん草、山法師など四季を彩る地元に育つ花木の植栽を進めておられます。

また、間伐をした林内に苔を生育させ、数年後に1万本のササユリが咲き香り、四季の花咲く山野草に囲まれてゆっくりとろげる場所に仕上げていく予定だということです。

この苑内の空間デザインや各種山野草の植栽は、佐々江にお住まいのプロの庭師の方がこれまで培つてこられた、知識、経験、そして理想のすべてを注ぎ込み行っておられます。

平成30年春に正式オープンという二とですので、是非足をお運び下さい。場所や連絡先につきましては、森林組合事務所に起こしいただければチラシをお渡しいたします。



(資料提供・北桑木材センター H29.7.6)

スギ 中目	4m × 18~24cm	¥9,000~10,000	・スギ
" "	4m × 24~30cm	¥11,000~13,000	良材の荷薄
柱	3m × 16~20cm	¥8,000~10,000	3m24cm上の元材
" "	6m × 16~20cm	¥18,000~23,000	は高値
元木 良材	4m × 24cm上	¥30,000~40,000	・ヒノキ
ヒノキ 柱	3m × 16~20cm	¥9,000~11,000	中目・土台とも
" "	6m × 16~20cm	¥10,000~15,000	安値
中目	4m × 18~24cm	¥11,000~14,000	※左記の金額は1
土台	4m × 14~16cm	¥10,000~11,000	立法メートル当たりの
元木 良材	4m、6m共	¥40,000~50,000	金額です。

あとがき

今回の森林大よりで皆様に御案内している「夏の大整備会」もそうですが、毎年春・夏・秋と「森の道具屋」にてお客様感謝祭を開催しています。平成26年秋の感謝祭から開催日を土曜日・日曜日に変更し、ご来客数も着実に伸び、平日にご来店いただく方々からも「今度売出いつやらはるん?」と聞かれるくらい、定着したイベントとなりました。

日吉の森復活作戦と題して取り組んできた森林整備も同じで、職員が山から下りてきました時に、地元の方に偶然お会いすると「森林組合か。気張つてたなあ。ご苦労さんやなあ。」と、こちらから名乗らなくとも森林組合だと分かつていただき、お声掛けしていただけます。また、森林プランと呼んでいる森林整備の見積書も、郵送でお送りすれば100%に近い割合で1、2週間で返信用封筒にて押し印いたいた契約書をご返送いただけます。こんなことは普通のビジネスでは考えられないことだと思います。本当に有り難い限りです。

しかし、正直申し上げますと、この「有り難い」と思える事が今まで続くのだ

ろうかという不安は常々あります。感謝祭をとつてみると、どこかマンネリ化してきている感じがして、このままだとご来店いただく方が飽きてしまって、いつしかご来客数が激減してしまったんじやないだろうか。とか、森林整備も郵送でのやり取りになってしまい、組合員の皆様の顔を見ないまま仕事が済んでいってしまったため、皆様の山に対する思い入れというものが、きちんと聴けていないんじゃないかな。いっしき、今の有り難い状況が「当たり前」と思ってしまうんじやないか。と。

今の状況を当たり前と思つてしまわぬよう。また、皆様に喜んでいただけれるサービスを提供し続けられるように、皆様のお声をお聞かせいただければと、「アンケート調査」を企画させていただきました。

先に申し上げましたように、皆様の想いを少しでも汲み取り、サービス向上に繋げていければと思っておりますので、どうぞご協力お願い申し上げます。

そして、日吉町森林組合に就職して良かったと、私自身が思い続けられるような職場になるよう、努力していきたいと思います。

(小林)